

米海軍兵による公然わいせつ事件に対する抗議決議

沖縄防衛局によると、本年12月19日午前3時45分ごろ本町北谷1丁目所在の店舗先路上で、全裸で徘徊したとして米海軍兵が公然わいせつ容疑で現行犯逮捕される事件が発生した。

本町においては、去る5月23日に本町港の集合住宅付近の道路において下半身を露出したとして在沖米海兵隊員が逮捕されたにもかかわらず、再び同様な事件が発生したことは看過できるものではない。

本町議会では、米軍絡みの事件や事故が繰り返されるたびに関係機関に対し再三再四、抗議及び要請してきたにもかかわらず事件が後を絶たない。沖縄に米軍基地が集中するが故の事件であり、日米両政府が繰り返す「綱紀粛正」「再発防止」「教育の徹底」という言葉は、根本的な解決に繋がらず極めて遺憾である。

よって、本町議会は町民及び県民の生命、財産、安全を守る立場から米軍及び関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 事件の全容を解明するとともに速やかに公表し、米軍人・軍属の綱紀粛正を徹底すること。
- 2 リバティー制度の更なる規制を強化すること。
- 3 米軍人や軍属等による事件・事故防止のための協力ワーキングチームを早急に開催し、事件の再発防止と具体的な解決策を日米両政府で早急に作成し公表すること。
- 4 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。
- 5 全ての在沖米軍基地を整理縮小し、段階的に撤去すること。

以上、決議する。

令和7年12月25日

沖縄県中頭郡北谷町議会議長 仲地 泰夫

あて先

駐日米国大使 米インド太平洋軍司令官 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官
第31海兵遠征部隊司令官 在沖米国総領事